

市民と学生のためのセミナー（開催案内）

「食とごみ」

この一年、食をめぐる多くの「事件」がありました。食を外部に大きく依存していることの危うさを再確認した方も多いのではないのでしょうか。食べ物の生産と消費の場が乖離し、食べ物が「商品」となり、ブランド化や投機がおこっています。しかし、食べ物は命の元であり、食べることはいのちを頂くこと、農業は水や環境を育み、暮らしや文化を伝えるものであることを今一度、思い起こしたいものです。そして、これらを循環させていくために、何が大切かを一緒に考えてみませんか。

廃棄物学会発行の「市民がつくるごみ読本 C&G 12 号」に、講師にお招きする丹下晴美さんと西村恵信さんのお話が掲載されています。お二人のお話を伺い、また質問にもお答えいただく機会を設けました。市民や学生の皆さん、奮ってご参加下さい。

日 時 : 平成 20 年 7 月 12 日 (土) 13:30 ~ 16:30 (受付開始 13:00)
会 場 : 大阪市立大学文化交流センターホール
〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第 2 ビル 6 階
TEL 06 (6344) 5425 <http://www.osaka-cu.ac.jp/faculties/bunko/index.html>

プログラム:

13:30~13:40 開会挨拶

13:40~14:55 「生産者の思いを知ることで始まった残食減量作戦！」

[今治市立城東小学校元校長] 丹下 晴美さん

(14:55~15:10 休憩)

15:10~16:25 「禅寺の清貧と食事の作法」

[花園大学前学長・禅文化研究所所長] 西村 恵信さん

16:25~16:30 閉会挨拶

参加費:1,000 円(資料代として C&G No12 を含みます。C&G No.12 を持参される方は 500 円となります。)

定 員: 100 名(先着順)

申込方法:(事前申込み及び締切日厳守をお願いします。)

「市民と学生のためのセミナーに参加希望」と明記の上、住所、氏名、連絡先(電話番号、E-mail アドレスなど)とともに、C&G No.12 の 要・不要のいずれかを必ず明記して、7 月 4 日(金) までに E-mail、ファックス、もしくは葉書で下記までお申し込みください。

(E-mail、ファックス、葉書の到着にて受付番号を発行します。)

申 込 先: 〒640-8510 和歌山市栄谷 930 和歌山大学システム工学部 金子研究室 気付
廃棄物学会関西支部「市民と学生のためのセミナー」係

TEL.073 (457) 8338, 8334 FAX.073 (457) 8335

E-mail : cs2008semi@center.wakayama-u.ac.jp